

I. 広東省

1. 胡春華・省党書記が広州鉄道集团公司第4回党代表大会に出席

●16日午前、胡春華・省党書記が上記大会に出席し、習近平・総書記の一連の重要講話、特に全国国有企業の党建設工作会議で述べた重要講話の精神を深く学習・貫徹し、全面的に厳格な党の統治を堅持し、党建設を強化・改善し、広州鉄道集团公司を強く優れた大企業にしていこう強調。陸東福・同公司党組織書記も出席し、講話を行なった（10月17日付『南方日報』）。

2. 胡春華・省党書記、朱小丹・省長がバスケス・ウルグアイ大統領と会談

●16日午後、胡春華・省党書記、朱小丹・省長が広州市でバスケス・ウルグアイ大統領と会談。胡書記とバスケス大統領立会いの下、朱省長とウルグアイ・ロチャ県知事は、広東省と同県が友好交流関係を築くための基本合意書に署名。広東省は南米・ウルグアイとの友好協力を非常に重視しており、珠海市横琴エリア・中南米経済・貿易協力パークの建設に力を入れて進めているところであり、併せてビジネス・サイエンス・パークに関し、ウルグアイとの協力協定に署名した。更に、胡書記はバスケス大統領を現在開催中の第120回広州交易会に招待し、同省の貿易状況について一層理解を深めてもらいたいと述べたのに対し、バスケス大統領も快くその招待を受けた（10月17日付『南方日報』）。

●17日午前、広州市で「中国（広東）・ウルグアイ経済・貿易交流会」が開催され、バスケス大統領、黄龍雲・省人代常務委員会主任、何忠友・副省長が出席するとともに、省貿易促進委員会とウルグアイ投資・貿易委員会の協力協定の署名に立ち会った（10月18日付『南方日報』）。

3. 朱小丹・省長が陳徳銘・海峡兩岸関係協会会長一行と会談

●16日午後、朱小丹・省長が広州市で陳徳銘・海峡兩岸関係協会会長一行と会談。胡春華・省党書記の委託を受けた朱省長は、省党委員会・省政府を代表し、一行が広東省を訪れ、第2回深圳国際クリエイター・ウィークの海峡兩岸青年起業イベントに出席したことを歓迎し、同協会が長きにわたり広東省の業務に関心を持ち、支持してくれていることに感謝の意を表した（10月17日付『南方日報』）。

4. 汪洋・副総理が第120回広州交易会を視察

●17日、汪洋・副総理が第120回広州交易会を視察するとともに、広州市で全国貿易業務座談会を主宰し、信念を固め、厳しい状況にありながらも、全力で貿易状況を回復させることによって、良い方向に向かわせるよう強調。胡春華・省党書記、朱小丹・省長が関連イベントに同行（10月18日付『南方日報』）。

5. 第3四半期の全省経済動向に関する特別テーマ会議の開催

●17日午前、胡春華・省党書記主宰の特別テーマ会議が開催され、第3四半期の全省経済動向について分析し、次の経済業務を検討・手配した。胡書記は問題が導く方向を際立たせ、第4四半期の経済業務を全力でしっかりと実行し、本年の目標・任務の達成を確保し、「十三・五計画」を良好にスタートさせなければならないと強調（10月18日付『南方日報』）。

●20日午後、徐少華・常務副省長主宰の2016年第3四半期の全省経済動向分析会が開催され、朱小丹・省長が出席し講話を行なった。副省長も全員出席（10月21日付『南方日報』）。

6. 胡春華・省党書記がサルクイ・バヌアツ首相一行と会談

●17日午後、胡春華・省党書記がサルクイ・バヌアツ首相一行と会談し、次のように述べた。我々は中央の要求に基づき、地方政府間の交流・協力を更に緊密にし、より多くの民間による往來を推進し、企業の投資・協力を奨励し、観光、文化、商業・貿易、農業、漁業、インフラ等の分野における協力を深めていく（10月18日付『南方日報』）。

7. 省政府常務会議の開催

●18日午後、朱小丹・省長主宰の上記会議で、省エコ文明体制改革の深化、省零細中小企業発展基金の設立等について検討し、業務を手配した（10月19日付『南方日報』）。

8. インフラ重点プロジェクト、中央の予算による投資プロジェクト建設を急ぐための業務会議が開催

●19日午後、徐少華・常務副省長主宰の上記会議で、朱小丹・省長は責任を持って実行し、措置を強化し、本年の任務達成を確保するよう強調（10月20日付『南方日報』）。

9. 2016年中国・ドイツ企業投資・M&Aフォーラムの開催

●19日、商務部投資促進事務局、南方メディア集団の指導により、中国国際投資促進センター（ドイツ）、仙山市中国・ドイツ工業サービス地区、南方日報共催の上記フォーラムが開催され、ドイツ側が50以上のハイエンド・プロジェクトの現場説明会を行い、300社以上の中国の企業がビジネス・マッチングの相手を探しに集まった（10月20日付『南方日報』）。

10. 朱小丹・省長がトルコ・ロシア副首相一行と会談

●19日午前、上記会談で朱小丹・省長は、広東省はロシアとの友好交流・協力の発展を非常に重視していると述べるとともに、トルコ副首相に対し、広東（石龍）鉄道国際物流センター、中国・ロシア貿易産業パークの建設状況、「広東・満州里・ロシア」を経由する中国・欧州貨物列車の運行状況を重点的に紹介した（10月20日付『南方日報』）。

11. 朱小丹・省長がエストロジ・仏PACA議会議長一行と会談

●19日晚、朱小丹・省長がエストロジ・プロヴァンス＝アルプ＝コート・ダジュール地域圏（PACA）議会議長一行と会談し、双方は「広東省とPACAが経済協力を強化するためのアクション・プラン」に一緒に署名した（10月20日付『南方日報』）。

12. 胡春華・省党書記が珠海市、中山市を視察

●18日～20日、上記視察で胡春華・省党書記は、香港・珠海・マカオ大橋がまもなく完成し通行可能になるため、両市はこのチャンスをしっかりとつかみ、都市の発展、交通・産業の配置を最適化し、それを省西部に広げ、発展を加速させていくよう強調（10月21日付『南方日報』）。

13. 広東省で中国工農紅軍長征勝利80周年記念座談会を開催

●21日午後、朱小丹・省長主宰の上記座談会が開催され、胡春華・省党書記、楊玉文・南部戦区副政治委員兼政治工作部主任が出席し講話を行なった。黄龍雲・省人代常務委员会主任、王栄・省政協主席も出席（10月22日付『南方日報』）。

●17日～20日、胡春華・省党書記、朱小丹・省長、黄龍雲・省人代常務委员会主任、王栄・省政協主席、馬興瑞・深圳市党書記、黄先耀・省紀律検査委員会書記、李玉妹・省組織部長、徐少華・常務副省長、任学鋒・広州市党書記等がそれぞれ紅軍老兵士・同志を慰問（10月22日付『南方日報』）。

14. 広東省で葉剣英同志の30回忌

●22日、広州起義烈士陵園の墓前で何忠友副省長主宰の葉剣英同志30回忌が行われ、葉選平元全国政協主席（※）、朱小丹省長、黄善春省軍区政治委員、遊寧豐元省人代常務委員会副主任、広州市党委員会・市政府、省直属機関の責任者、葉剣英同志の親族が出席（10月23日付『南方日報』）。

※葉選平は葉剣英元帥の長男で、本年92歳となるがまだ健在である。他方、次男の葉選寧は解放軍で片腕の将軍として知られていたが、本年7月10日、77歳で亡くなっている。三男の葉選廉は本年64歳であり、深圳国葉実業有限公司会長、国基控股有限公司総裁等を務めたビジネスマン。

II. 広州市

1. 任学鋒・市党書記が中国鉄道総公司の部門責任者一行と懇談

●16日、任学鋒・市党書記が広州市を視察に訪れた黄殿輝・中国鉄道総公司計画・統計部主任一行と懇談し、「広州鉄道ハブ建設の推進に関する中国鉄道総公司・広州市会談議事録」を推進・実現していく業務について突っ込んだ意見交換を行い、同ハブ建設を加速した（10月17日付『広州日報』）。

2. 広州国際航空ハブ建設指導グループ第1回会議の開催

●19日、任学鋒・市党書記主宰の上記会議が開催され、広州空港経済エリア計画案、国際航空ハブ建設状況について聴取し、次の業務を手配。王昌順・南方航空集団総経理等も同席（10月20日付『広州日報』）。

3. 広州市が国家総合交通ハブ建設モデル・プロジェクト都市に

●20日、広州市発展改革委員会は、広州市が全国で第1弾として6つ選ばれた国家総合交通ハブ建設モデル・プロジェクト都市として正式に承認されたと伝えた。将来的に広州駅は高速鉄道用に改造される（10月21日付『南方日報』）。

III. 深圳市

1. 国有企業改革を推進し、反腐敗・クリーンな政治を提唱するための業務に関する座談会の開催

●16日午前、許勤・市長主宰の上記座談会で、習近平・総書記の重要講話と指示の精神を学習・貫徹し、中央と省の関連会議の要求を実行すべく、業務を総括し、経験を交流し、次の業務を手配。馬興瑞・市党書記が出席するとともに、党の国有企業に対する揺るがぬ指導を堅持し、断固変わらず国有企業を強く、優れた、大きなものとしていくよう強調（10月17日付『深圳特区報』）。

●20日、市国有資産監督管理委員会によれば、本年1月～9月の市所属国有企業の資産総額は約1.05兆元、純資産額は5,749億元、営業収益は905億元、利潤総額は228億元、納税額は217億元となっており、経営状態は全体的に安定している。目下、国有企業改革を通じ、混合所有制となった企業の比率は75%に達している（10月20日付『深圳特区報』）。

2. ウルムチ市で新疆ウイグル自治区シルクロード経済ベルト・創新駆動発展試験区業務推進会議が開催

●18日午前、上記会議が開催され、新疆ウイグル自治区政府、科学技術部、深圳市、中国科学院が「シルクロード経済ベルト・創新駆動発展試験区の建設を推進するための協力覚書」に署名。これにより、陳全国・同自治区党書記と王志剛・科学技術部副部長をチームリーダーとし、ショハラト・ザキル同自治区主席、馬興瑞・深圳市党書記をサブリーダーとする指導チームが形成され、同試験区を共に建設していくこととなった。ザキル主席、王志剛副部長、許勤・深圳市長等が署名に立ち会うとともに挨拶を行なった（10月19日付『深圳特区報』）。

3. ベラルーシ・シルクロード経済ベルト投資プラットフォーム・プロモーション・イベントの開催

●20日、上記イベントが開催され、ジノフスキー・ベラルーシ経済相、艾学峰・副市長が出席し挨拶。双方がこのたび重点的に推進した中国・ベラルーシ工業パークは両国に相互利益をもたらす協力のシンボルとなるプロジェクトであり、総投資額は約56億米ドルで現在、中国の対外協力では最もレベルが高く、敷地面積も最大、政策条件が最も優れた工業パークである。ZTE、ファーウェイ等の深圳企業がすでに進出リストに入れられている（10月21日付『深圳特区報』）。

4. 馬興瑞・市党書記、許勤・市長がノーベル物理学賞受賞者と会談

●16日午前、馬興瑞市党書記、許勤市長がスティーブン・チュー米スタンフォード大教授（1997年受賞）一行と会談（10月17日付『深圳特区報』）。

●22日午前、馬興瑞市党書記、許勤市長が中村修二教授（2014年受賞）一行と会談（10月23日付『深圳特区報』）。